



## 伝統の技と現代の感性 循環型社会を実現する「土佐派の家」

■活動時期 : 年間

■主な活動メンバー: 建築家 37人

■ホームページ:

<http://www.sekkan.i-tosa.com/new/index.html>

### (取り組み内容)

森に眠る価値ある資源を大切に、人にも地球にもやさしい自立循環型社会の推進に取り組んでいる。また、土佐土着の伝統工法を再び評価し直し、これをもとに現代の感性でデザインする。

#### ① 環境・生態

建築士に対し、学習・研究を通して環境問題に向き合ってもらう活動を行っている。また、学校等のエコ改修事業（低い環境負荷で社会的財産を保全する改修）を実践している。

#### ② 土佐派の家

その土地の風土（土佐の環境）にあった地産地消の営みに戻し、伝統の知恵を活かした循環型でありながらも現代の感性に応える革新性を併せ持った住宅の促進

#### ③. その他（伝統・風土、景観・まちづくり、技術、防災対策など）

### ■取り組みの成果

- ・消費者から県民が誇れる土佐文化として賛同を得、伝統的木造住宅の普及促進に寄与している。
- ・高知の風土と協調するデザインは日本建築学会賞など数多くの建築賞を受け、高い評価を得ている。

### ■取り組みを進めるためのポイント

次の考え方（ポイント）のもと、取り組みを推進している。

#### 【土佐派の山中八策】

- ① 地域の恵みである伝統的な素材を生かす（地域経済）
- ② 素材を見抜いて扱う職人の技を生かす（伝統と技）
- ③ 現代の感性に適った表現（デザイン）で、時とともに味わいを深める美しさを求める（高い意匠性）
- ④ 百年以上の寿命と家並みを保つ（高い耐久性）
- ⑤ 地域に棲む生きものの生態に添って、共に栄える（生態系と共存共栄）
- ⑥ 地域の資源を有効に循環利用する（省資源化）
- ⑦ 化石エネルギーに頼らず、地域の気象に添う（省エネルギー）
- ⑧ 近隣のコミュニティを大事にし、町並みに添う（歴史と風土）

### ■今後の展望

生活の質を犠牲にして見かけの効率を追うのではなく、身近なものをじっくり味わいながら実のある暮らしの容れ物をつくる道、真に美しく住まうための道を求めていく。

### ■県民の皆さんに一言

建築という領域にとどまらず、広い意味での文化の中で、高知のあるべき姿を考え、日々研鑽を積み励んでいます。これからの新たな枠組みの中、建築と地域性（まちづくり）、建築とその歴史性、そして文化の継承という様々な関係性の中で「建築」を語り始めなければならないと考えています。